

第14次 実施計画シート兼初期診断書(継続用)

事務事業の概要	事務事業名 <b>読書ボランティア養成事業</b>		整理No.	10
	担当課 <b>コミュニティ振興課</b>		事業別	<input checked="" type="checkbox"/> 非建設事業 <input type="checkbox"/> 建設事業
	体	大-中-小	IV-2-(4)	
	系	施策のあらまし	まちづくり活動団体の育成	ページ 127
	マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し		
	実施期間	平成18年度～平成22年度 (5年間)		
根拠法令要綱等	名称	子どもの読書活動の推進に関する法律		<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
	市の実施義務	<input type="checkbox"/> 義務規定 <input checked="" type="checkbox"/> 努力規定 <input type="checkbox"/> 任意規定 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( まどかびあ図書館と共同して実施 )			

目的(何のために)	対象(何・誰を対象に)
19年度に発効した「子ども読書活動推進計画」の中ではボランティアの育成と連携が重点目標のひとつに掲げられているが、その達成のために、市とまどかびあ図書館が共同して読書ボランティアを育成するもの。	今後読書に関するボランティアを市内で始めたいという強い意欲を持っている人、また、既にボランティアを行っているがさらにスキルや知識を身につけたいと考えている人。
手段(どのような事業を実施して)	成果(どのような成果を期待するか)
専門家による講義により、養成講座受講生の読み聞かせに関するスキル及び基礎知識を学習する機会を提供する。また、「布の絵本」(柔らかい布の素材を使用することで、障がいを持った子どもでも安心して楽しむことができる絵本)の製作実践講座を併せて実施し、幅広い視点から読書ボランティア養成及び図書資料の充実を図る。	図書館・学校・地域で活動できるスキルを持ったボランティアを年次的に漸増させていくことで、ボランティアの活動の幅を広げ、交流を推進していくことが期待できる。

事業環境	筑紫地区等近隣自治体との比較(実施状況、サービス水準の平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 同程度 <input type="checkbox"/> 低い	福岡県立図書館における「布の絵本」製作ボランティア(ゆずりはの会)の活動
他課等の関連事業	課名	みらい交流課	
	事業名	子ども読書活動推進計画事業	

視点別評価	評価項目	1次		2次	
		1次	選択理由、特記事項等	2次	選択理由、特記事項等
市関与の妥当性	①市民等のニーズ	3	まどかびあ図書館との共催で事業を実施してきたが、図書館が持つ専門的なノウハウを十分に活かすことができ、質の高い講座を受講生に提供することができた。今後も同様に共同で事業実施することが効果的である。	2	法的な義務性は任意であり、また、各区に地域貸出文庫があり、その事業として読み聞かせ事業は行われていることから、他の事業等による代替性もある。ただし、ボランティアの育成という点では、十分満足できる状況にないので、引き続きニーズはある。
	②法的な義務性	2		1	
	③代替性	3		1	
	合計(9点中)	8		4	
手段・内容の適切さ	①担い手の妥当性	3	まどかびあ図書館と共同で事業実施することにより、長年図書館が培ってきた専門的なノウハウを活かせるだけでなく、市の積極的な関与が市民へのアピールにもなる。	2	本事業だけではなく、地域貸出文庫と協働、連携した取り組みで、ボランティア育成はできると判断している。
	②受益者負担	3		3	
	③効率性	3		3	
	合計(9点中)	9		8	
有効性	①目的の達成状況	3	受講生の積極的な意欲により、ボランティア登録者数及び「布の絵本」製作数は今後も順調に増加していくものと思われる。	3	登録者60名に対して、H19年度38名と成果は概ね当初予定通りと考える。
	②成果の状況	3		2	
	③上位施策への貢献度	3		2	
	合計(9点中)	9		7	

診断結果	担当課長所見
<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input type="checkbox"/> 終了	将来的には登録したボランティアが地域や学校などの現場で活動できるようになることが目標である。今後も継続的に事業を実施し、今年度まで市とまどかびあ図書館が育てたボランティア活動の芽を、長期的な視点で大きく成長させていく必要がある。
改善点及び改善を実現するための条件	本市では「子ども読書活動推進計画」をもとに各種の読書に関する施策が動き出しているが、そのなかでも当事業はスタッフとなるボランティアを養成することで、子どもたちの読書活動の裾野を広げる事業であることから継続して実施していく必要がある。

2次診断	診断結果	診断理由等	事業費		人員	
			事業費	人員	事業費	人員
2次診断	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する	地域貸出文庫との協働、連携などにより、本事業で育成されたボランティアの活用を図るための取り組みを強化する必要がある。	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 拡大		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する		<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 維持		
	<input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する		<input type="checkbox"/> 削減	<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む)		<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> なし		
	<input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む)					
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止する					
<input type="checkbox"/> 終了						